

男性研究者・学生のための 共同参画

働く女性の家族であり、同僚であり、上司でもある男性が当事者としてどのような状況に出あうか、どのような視点を求められているか、そして男女それぞれが能力を生かし社会の中でともに生きるためにどうしていったら良いのか・・・アメリカや日本での事例を交えながらお話し頂きます。

共に歩む 未来のために

入場：無料
事前申し込み不要
対象者：研究者・学生
定員：170名

2011.5.19 [木] 18:00 ~ 20:00

東京大学本郷キャンパス 理学部 1号館中央棟 2階 小柴ホール
東京都文京区本郷 7-3-1

▶▶ プログラム

ぜひご参加下さい!

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 18:00-18:05 | 男女共同参画委員長・寺島一郎教授の挨拶 |
| 18:05-18:45 | 治部れんげ氏 講演 |
| 18:45-19:25 | パネルディスカッション・黒田真也教授 |
| 19:30 | 終了 |
| 19:30-20:00 | 小柴ホール前ホワイエにて、講演者と気軽にお話しできます。 |



講演タイトル

男性のワーク・ライフ・バランス
～「フェアな人ほど大変」なのはなぜか～

治部れんげ

経歴:

1974年生まれ。
1997年一橋大学法学部卒業。新聞社系の出版社で経済誌の記者を務める。
2006年より1年間、ミシガン大学フルブライト客員研究員として、アメリカ男性の家事育児参加とそれが妻のキャリアに与える影響について文献調査とインタビューを行い、英文レポート "How American Men's Participation in Housework and Childcare Affects Wives' Careers" と著書「稼ぐ妻・育てる夫：夫婦の戦略的役割交換 アメリカ人52人のワーク・ライフ・バランス」(勁草書房)にまとめる。



前男女共同参画委員長

黒田真也

東京大学大学院理学系研究科・理学部
生物情報科学科 教授